

タブレットを活用した ALT へのおすすめスポット紹介活動 (NEW HORIZON English Course 2)

①話・発

①書く

②一斉

③タブ

【ここがポイント！】

「一人一台端末を活用したスピーチ発表」

新型コロナウイルス感染症拡大のため、大きな旅行に行けない ALT に対して、広島県内のおすすめスポットを英語で伝えるメッセージ動画を作成する。

ALT が興味を持っていることについて、情報を収集したり、ALT に伝えることを整理したり、ALT に分かりやすく伝える表現や、方法を考えたりすることができる。動画を撮影するにあたって、ループリックを作成し、それを基に繰り返し練習することができる。撮影した動画を、Google クラスルームを通じて ALT に送り、後日 ALT から、生徒の動画についてのコメントやフィードバックが届く。生徒は、ALT からのコメントやフィードバックを基に、相手意識を持った英語によるコミュニケーションについて、考えることができる。

【実践の目標】

ALT に紹介したいおすすめスポットについて、ALT に分かりやすい内容や話し方を考えながら、英語で伝えることができる。

【実際の場面】

1. 課題を設定する

ALT が、新型コロナウイルス感染症拡大のため、大好きな旅行ができず、また、母国に一時帰国することもできない状況であることから、広島県内のおすすめスポットを紹介するメッセージ動画を作成しようと提案した。

2. ALT の先生に伝えたい情報を整理する

ALT に紹介したいスポットについて伝えるために、ALT の好きなことや、興味のあることについて、情報を収集した。収集した情報を基に、マインド・マップを活用し、どのように組み立てたらよりよく伝わるか、ALT に興味を持ってもらえるか考えた。

3. やり取り

マインド・マップを基に、生徒同士で簡単なやり取りを行った。やり取りの後、スピーチ原稿を作成した。その際、Google の機能を使って、発音や、自分が伝えたい内容を、よりの確に伝えられる表現についても調べた。

4. ループリックを活用した練習を行う

相手に伝える際に大切にしたいポイントに関するループリックを提示、内容を確認し、自信を持って動画撮影できるまで、何度も練習をした。ループリックでは「声の大きさ」、「アイコンタクト」、「話すスピード」等も示した。

5. 動画の作成

相手意識のある伝え方に留意しながら、練習を行った後、各自で動画を撮影した。自分の納得のいく動画が撮れるまで何度も練習を繰り返し、撮影した。また、撮影した動画は Google クラスルームを通して、ALT に提出した。

6. 評価を行う

後日、ALT から、Google クラスルームを通して、コメントやフィードバックが返却された。生徒は ALT からのコメントやフィードバックを基に、次の学びにつなげるにはどうしたらよいかを考えた。また動画を基に、指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

- スピーチ動画を撮影して提出するため、生徒達は何度も練習・撮影を繰り返した。そのことにより、言語活動の量・質が向上した。
- 英作文をする際に、友達や教員に質問するだけでなく、自分で検索することで、質問の順番を待つ時間がなくなる等、生徒は自分のペースで学習を進めることができた。

【課題】

- 授業中にヘッドセットがない状態で動画撮影をしたため、他の生徒の音声が入り込んで聞き取りづらい動画になった。タブレットだけでなく付属の機器も必要となる。
- ループリック作成の際には、技能に関するだけでなく、主体的に学習に取り組む態度についても取り入れ、評価を多面的に行う必要がある。

尾道市立因北中学校

